allcinema

乱気流／タービュランス（1997）

TURBULENCE

メディア 映画
ジャンル パニック　アクション　ホラー
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　101分
初公開日 1997/07/12
公開情報 ギャガ＝ヒューマックス

【解説】

クリスマス・イヴ、わずかな乗客しかいないジャンボ機で、四人の保安官は二人の囚人を護送していた。ところが囚人のひとりスタッブスが保安官の銃を奪い取り、銃撃戦が発生。その結果、スタッブスと保安官全員、それに機長と副機長が死亡するという事態に陥った。生き延びた囚人ライアンはスチュワーデスのテリーに自分の無実を主張し、協力する事を提案。だが、自動操縦で飛行を続けるジャンボ機が嵐に突入した頃から、ライアンは殺人鬼の正体を現す。乗客数人は客室に閉じ込められ、他のスチュワーデスもライアンに殺されていた。機内で動けるのはテリーとライアンしかいないのだ。そんな過酷な状況の中で、テリーは無線を頼りにジャンボ機を操縦することになる。しかも死をも恐れないライアンは機をＬＡに墜落させると宣言、国防総省は最悪の事態を避けるため、ジャンボ機の撃墜を準備していた……。

まるで７０年代航空パニック映画の再現のような作品だと思ったら、監督は「メイデイ４０，０００フィート」のＲ・バトラー。そういえばアチラも似たようなストーリーだったような気が……。そのせいかどうか、本作もＴＶムービー的にこぢんまりとした造りになっており、数々の見せ場があるにも関わらずさして盛り上がりのない結果に終わってしまった。嵐の中、限定された空間で狂気の殺人鬼に追われる女というのは、実はゴシック・ホラーの定番で、その舞台を飛行機に置き換えたというのは、アイディア的には金星物と言ってもいいのだが、いかんせん、先に挙げた理由と、主演のＬ・ホリーに魅力が無いのが致命的。たとえ殺人鬼に襲われたからといって、化粧が崩れるまま泣き叫び続けるという、観客の感情移入を拒むようなキャラであっては駄目なのだ。

【クレジット】

監督	ロバート・バトラー	Robert Butler	
製作	マーティン・ランソホフ	Martin Ransohoff	
	デヴィッド・ヴァルデス	David Valdes	
製作総指揮	キース・サンプルズ	Keith Samples	
脚本	ジョナサン・ブレット	Jonathan Brett	
撮影	ロイド・エイハーン二世	Lloyd Ahern II	
視覚効果	マーク・ヴァーゴ	Mark Vargo	
音楽	シャーリー・ウォーカー	Shirley Walker	
出演	ローレン・ホリー	Lauren Holly	テリー・ハロラン
	レイ・リオッタ	Ray Liotta	ライアン・ウィーバー
	ベン・クロス	Ben Cross	ボウエン機長
	ヘクター・エリゾンド	Hector Elizondo	ハインズ
	ブレンダン・グリーソン	Brendan Gleeson	
	キャサリン・ヒックス	Catherine Hicks	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

レイチェル・ティコティン	Rachel Ticotin
ジェフリー・デマン	Jeffrey DeMunn
グランド・Ｌ・ブッシュ	Grand L. Bush
スコット・ローレンス	Scott Lawrence

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.